

集 団 討 論 課 題

日本には、生まれ育った家庭や様々な事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていない子どもがおり、国民生活基礎調査（令和4（2022）年）の結果では、相対的に貧困の状態にある子どもの割合は11.5%であり、特にひとり親世帯の貧困率は44.5%と高くなっています。

子どもの貧困は、経済的な困窮にとどまらず、学習面や生活面、心理面など様々な面において、子どものその後の人生に影響を及ぼすことから、子育てや貧困の問題を家庭のみの責任とするのではなく、社会全体で解決することが重要です。

そこで、以下の点について討論し、グループとしての意見をまとめてください。

- 1 子どもの貧困問題の現状と課題、社会へ及ぼす影響について整理してください。
- 2 子どもの貧困問題への対応として、県はどのような取組を行うべきか具体的に考えてください。

試験当日、集団討論を実施する試験室には、筆記用具のみ持ち込みを認めます。
課題に関するメモ類や資料等は持ち込みを一切禁止します。